

跡見学園女子大学 学報



跡見学園女子大学は、2015（平成27）年4月に、観光コミュニティ学部を新たに開設し、3学部8学科体制で未来に向けて発進いたします。学祖・跡見花蹊の理念を受け継ぎ、「教養と実践」を実現させる教育を目指します。開設に先立ち、2014（平成26）年11月29日に文京キャンパス・跡見プロッサムホールにおいて観光コミュニティ学部開設記念シンポジウム『〈まち〉で育てる・〈まち〉に生きる・〈まち〉を創る～コミュニティデザインの未来～』を開催（後援：文京区、公益財団法人文京アカデミー、朝日新聞社広告局）致しました。「実践力を備えた教養人・品性ある社会人・自律し自立した女性」を目指した学内外の動向をご紹介します。

記事内容

- 学長挨拶 ○「観光コミュニティ学部」が2015年4月に開設！ (2)
- 観光コミュニティ学部の開設を記念し、シンポジウムを開催！ (3)
- 平成26年度 文京区との連携事業「シニアプラザ事業」報告 (4)
- 春期海外研修のご紹介 (5)
- 平成26年度 各種研究助成報告 (6)
- 平成26年度 学内講演会 開催報告(学務部管轄分) ○第一回全学共通科目運営センター主催FD講演会報告... (7)
- 情報メディアセンターより ○平成26年度 心理教育相談所関連事業 (8)
- 保護者説明会・後援会大学幹事会の報告
- 平成26年度就職懇談会の総括 ○「ATOMIキャリアフォーラム（業種・企業研究会）」開催 (9)
- ゼミ紹介 ○図書館トピックス (10)
- 学生会情報 ○第47回 紫祭報告 ○CLUB NOW (11)
- 平成27年度 花蹊記念資料館展示スケジュール ○新年度オリエンテーション予定 (12)
- 春の行事予定 ○履修申請 ○桜まつり・オープンキャンパスのご案内 ○編集後記

学長挨拶

新学部設置を終えて

学長 山田 徹 雄



2015年度(平成27年度)は、跡見学園女子大学が設置されてから50年、跡見学園が創立されて以来140年を迎える。この記念すべき年に、本学は観光コミュニティ学部を開設し、学園の歴史に新たな一ページを加えることとなった。「グローバル化」した社会は、日本の有する価値観、文化を対外的に発信するスキルを備えること、また一方では、我が国のもつ魅力を求めて訪れる人々を受け入れる物的、人的インフラを整備することが前提となる。

グローバル化が進めば進むほど、国境の意義の相対化によって、地域のもつ役割が重要性を増す。

このような社会変化の上に、新学部を設置した観光デザイン学科とコミュニティデザイン学科の存在理由がある。

新しい学部が設置されたことで、安堵する暇はない。生まれた子供は育てなければならない。同時に、既存の学部・学科を含めて全学的な見地から、跡見学園女子大学がいかなる方向性を打ち出すか、模索する必要性を痛感せざるを得ない。

跡見学園女子大学は、2002年にマネジメント学部を設置した。当時、我が国に例を見ない独創的な発想であった。観光コミュニティ学部のもとにある観光デザイン学科、コミュニティデザイン学科も、他の大学の模倣ではなく、イノヴェイティブな構想である。

跡見学園の創始者である跡見花蹊先生は、明治初頭に先見性を持った斬新な発想から女子教育機関を設立した革新者であり、また起業家であった。われわれは、花蹊先生のDNAを受け継ぎ、さらに次の一手を考えたい。

観光とコミュニティで日本と地域を元気にする新学部

「観光コミュニティ学部」が2015年4月に開設!

いよいよこの4月に「観光コミュニティ学部」が開設。同学部には観光デザイン学科とコミュニティデザイン学科の2学科が設置され、本学は3学部8学科体制になります。学部の設置にあたり、本学は2014年5月に文部科学省への設置認可申請を行い、10月末に認可を受けました。その間、オープンキャンパスやシンポジウムなどを開催し、受験生や一般に向けた広報活動を行ってきました。4月に新たな教員を迎え、新学部がスタートします。

観光コミュニティ学部は観光立国日本を目指して盛り上がりを見せる「観光」と、地域社会をつなぐ「コミュニティ」にスポットを当て、観光やコミュニティを通じて、地域を、そして日本を元気にすることを目指す学部です。観光コミュニティ学部で扱う「コミュニティ」は、都道府県や市町村などの自治体だけでなく、人の集まるすべての「場」が対象となります。そのコミュニティの中で、観光デザイン学科では、さまざまな観光資源を発掘し、具体化して内外に発信できる観光デザイン能力を身につけます。コミュニティデザイン学科では、コミュニティに集う人たちの声に耳を傾け、コミュニティを活性化するためのプロジェクトを構想し、デザインできるコミュニティデザイン能力を磨きます。

とりわけ、コミュニティデザイン学科は全国でも珍しい学科です。「コミュニティデザイン」とは、人と人とのつながりを創り出すことにより、まちや地域が抱える問題を解決し、地域コミュニティを元気にする新しいコンセプトです。震災を機に、家族や友人など身近な人との絆が見直されるいま、コミュニティデザインを実践できる能力が社会で広く求められています。コミュニティデザイン学科では人と社会のありかたを研究する社会学を学ぶとともに、学外での実践的な学びを豊富に用意して、女性の視点を生かしたコミュニティデザイン能力を養います。

第二次安倍改造内閣では「地方創生」をスローガンに地域の活性化に乗り出し、魅力あるまちづくりを推進しています。また、全国各地でご当地キャラクターやご当地グルメなどが考案され、地域経済を活性化させるなど、地域振興の取り組みが数多く見られます。コミュニティデザイン学科の設置は、時代にマッチした先進的な取り組みと言えるでしょう。同学科の卒業生の進路は、公務員、地域金融機関、コミュニティビジネス、コミュニティデザイナー、教育・福祉産業などが想定されています。コミュニティビジネス、コミュニティデザイナーなどは新しい産業・人材であり、今後の発展が期待される仕事のひとつと言えます。

観光コミュニティ学部の新たな展開にご期待ください。

観光コミュニティ学部の2学科の特徴

観光デザイン学科

- 地域活性化の強力な推進役となる「観光」を、地域コミュニティの歴史や文化、産業などをベースに具体的に構想できる観光デザイナーを育成します。
- 新しい観光を創造するために欠かせない観光デザイン能力を高めることのできるカリキュラムを用意。
- インターンシップや地域・企業との連携プロジェクトなど、学外での活動を重視し実践力を鍛えます。

コミュニティデザイン学科

- コミュニティデザイン学科の中心的な学問分野は社会学。社会学は人と社会の関係を考え、理解し、視野を広げる学びです。子ども、消費、産業、観光などの観点から、現代社会の事象や課題を研究します。
- 社会の問題をコミュニティや地域の切り口で考え、新たな価値を創り、地域の活性化に導きます。
- 現地・現場での実践的な学びを重視。地域の人々とともに生きた学びを体験します。
- 女性の経験、発想、視点を生かし、コミュニティデザインを学びます。

観光コミュニティ学部の開設を記念し、シンポジウムを開催!

観光コミュニティ学部開設記念シンポジウム

〈まち〉で育てる・〈まち〉で生きる・〈まち〉を創る～コミュニティデザインの未来～

2014年11月29日、文京キャンパス跡見プロッサムホールにおいて、観光コミュニティ学部開設記念シンポジウムが開催されました。2015年4月開設の「観光コミュニティ学部」は、「観光」と「コミュニティ」の両面から地域の活性化を学ぶという全国的にも珍しい学部。シンポジウムでは、地方創生の現代にふさわしい新しいコンセプト「コミュニティデザイン」にスポットを当て、地域コミュニティの専門家、学生から様々な提言がなされました。当日は、コミュニティデザインに強い関心をお持ちの企業・自治体・高校関係者・区民など、400名を超える方々にお集まりいただきました。

観光コミュニティ学部で学ぶ学生への期待

冒頭、山田徹雄学長より「観光コミュニティ学部は、地域と共生していく」と、新学部と地域とのつながりについての挨拶がありました。続いて、観光コミュニティ学部の共通専門科目「ぶんきょう学」を担当される成澤廣修文京区長がステージへ。「文京区という地域が学生たちのフィールドワークの現場として活用され、その活動が地域活性化につながることを期待したい」とのお言葉をいただきました。

青森大学教授の見城美枝子氏からは、議論の起点となるブログメッセージが述べられました。「高齢化が進む日本を今後いかに成熟社会にしていけるかという視点が重要。また、文京区と地域、世界をどうつないでいくか。学生の方々にはその点を含め、観光コミュニティ学部での学びを深めてほしい」と、観光コミュニティ学部への期待が語られました。

全国各地でのコミュニティデザインの実践

続いて、「動き始めたコミュニティデザイン」と題して、全国各地の自治体によるコミュニティデザインの事例が紹介されました。

実践事例①新潟県・山古志村

2004年の新潟県中越地震によって壊滅的な被害を受けた山古志村の錦鯉産業。地域住民と錦鯉愛好者が力を合わせ、山古志DNAをもつ錦鯉を再生した。

実践事例②千葉県・いすみ鉄道

房総半島中央部を走るいすみ鉄道。経営悪化により廃止が検討されるなか、沿線住民と全国の鉄道ファンが応援団を結成して、知恵を出し合い経営の立て直しに成功した。

実践事例③長崎県・長崎市「長崎さるく」

少子高齢化により人口が減少した、坂のまち長崎。路地や坂が多い長崎市の特徴的な景観をまち歩きによって魅力に変える活動「長崎さるく」を通じて、長崎市の良さを観光客に伝える取り組みを実践し、観光客増加につなげた。

事例紹介に続いて行われたのは、文京区民と学生によるコミュニティデザインの実践活動の発表。2014年7月、文京区をより暮らしやすく、活気あるまちにするためのセミナーがスタートし、コミュニティデザインの実践活動に取り組みました。本学園卒業生でコミュニティデザインの専門家である政所利子氏を講師に迎え、学生と区民がまちの課題について議論し、人と人がつながる地域に根ざした交流のまちづくりについて検討。その成果として、文京区民と学生から文京区の文化財を区民の交流の場として活用することが提案されました。発表の最後には政所氏が「私たちは家ではなくまちに住んでいる。その認識を改めて感じ直し、さまざまな行動、仕事へとつなげていきたい」とまとめられました。

パネルディスカッションで語られた、コミュニティデザインの展望

パネルディスカッションは「コミュニティデザインの現場から『今、そして未来へ』」をテーマとして行われました。全国各地のコミュニティをフィールドに活躍されている4名の女性パネリストから地域での活動が紹介され、併せてコミュニティデザインの展望が語られました。

パネルディスカッションのコーディネーターを務めた政所氏は、「私たちは空気や水、衣食住すべてが地域と深く関わっていることを忘れてはならない。パネリストの方々のお話事例のように、明るい日本の未来をつくるカギは、私たちが握っている。コミュニティデザインは理解されにくい分野であるが、明るい未来につなげていく人材が新学部から育つことを願っている」と力強い期待の言葉をいただきました。

女性的価値観への転換の時代

最後に、総括講演としてご登壇いただいたのは東京大学教授の西村幸夫氏。「パネリストの方のお話に共通するのは生活者の視点。地域で暮らす生活の全体像をイメージしながらコミュニティビジネスを生み出していく。これは男性的価値観から女性的価値観への転換である。豊かな感性を持った生活者が新しいビジネスを創造する時代になる中で、女性的感性が一層大事になる。今回の新学部開設は時代の変革の象徴ではないか」と述べられました。



本学学生と文京区民によるコミュニティデザイン実践活動の発表



総括講演としてご登壇いただいた東京大学教授の西村幸夫氏

平成26年度 文京区との連携事業「シニアプラザ事業」報告

文京区との様々な連携事業を進める中、そのひとつ「シニアプラザ事業」をご紹介します。この取り組みはメディアに取り上げられただけでなく行政と地域の高齢者、学生との多世代間交流のモデルケースとして東京都健康長寿医療センター研究所*1も、高い関心を持って実際の取り組みの様子を見学されました。

1. 「^{ふみ みやこ}文の京介護予防体操」(10月から12月)

跡見ギャラリー講義室を会場とした体操教室も第2期を迎え、好評のうちに12回を終了しました。区内の会場のうち学生参加型は、唯一この会場だけで区内はじめての試みでした。学生主導の「認知症予防レクリエーション」は、参加者からも高い評価をいただきました。また3月13日(金)には、区主催の介護予防展(会場:文京区役所)が開催されました。体操に参加した学生のブースも設けられ、区民の皆さんに日頃の研究成果を発表できる貴重な場となりました。

2. 「健康まち歩き」(11月)

学生が作った区内探訪コース(4コース)を高齢者と一緒に歩く取り組みが実施されました。コース選定にあたっては、文京区高齢者クラブ連合会(以下、文高連)の会員からアドバイスを受け、区の担当者と幾度も打ち合わせを重ね、また、学生の目線で選んだカフェを取り入れるなど、コースのひとつひとつを訪ね歩き丹念に作り上げました。当日は、参加者全員がコーススタート前に、専門講師の指導による「健康歩き方教室」を受講しました。内容の完成度の高さは、文高連の会員、区の担当者からの評価もさることながら、見学、同行した東京都健康長寿医療センター研究所の先生方からも高い評価を受け、メディアでも大きく取り上げられました。

3. 「いきいきシニアの集い」(11月)

区役所を会場とした高齢者の文化祭に参加、協力しました。当日は、主催する文高連の会員と学生がベスト(学生のデザインによる)を着用し、各会場で運営に携わりました。書道部、華道部の作品展示も「跡見らしい」と来場者から好評でした。学生考案の「セロッタラ」(老舗漬物店とのコラボで誕生した漬物)が即日完売するなど様々なシーンで「若い力」を発揮することが出来ました。

4. 「コミュニティバスのDVD制作」(9月~3月)

文京キャンパス西門前に、コミュニティバス(愛称: B-ぐるバス)の停留所「跡見女子大西門前」が11月にお目見えしました。昨年夏よりバスの車内放映用DVD制作がスタート。制作3年目となる今年度は、文高連の会員の協力による「わがまち自慢」(区内を4地区に分ける)がテーマでした。会員と打ち合わせを重ね、サークル活動に参加し交流を深めていくことが出来ました。B-ぐるバスをご利用の際は、優しくほっこりとした作品に仕上がったDVDを是非ともご覧ください。4部作(2か月ごとに作品入れ替え)を4月まで放映中です。

地域に一步踏み出した多世代間交流がスタートして約一年。東京都健康長寿医療センター研究所の、とりわけ日本とアメリカで世代間交流を研究されている先生が、今回のような地域の大学生(福祉分野以外)と高齢者との交流で、これほどの成功例は世界的にも見たことがないとの高い評価をいただきました。これからも、地域に根ざした「大学」を目指し邁進してまいります。

* 1 東京都健康長寿医療センター研究所

高齢者の心身の特性に応じた適切な医療の提供、臨床と研究の連携、高齢者のQOL(クオリティーオブライフ、の略で、「生活の質」と訳す)を維持・向上させるための研究を通じて、高齢者の健康増進、健康長寿の実現を目指し、大都市東京における超高齢社会の都市モデルの創造の一翼を担う研究所。http://www.tmghig.jp/

春期海外研修のご紹介

国立スターリング大学 (イギリス)

スターリング大学の海外研修は夏期では4週間(H26.8/3～9/3)、春期では7週間(H27.2/11～3/29)の語学研修を実施します。この研修では、海外での授業、生活、多くの人々との交流を通じて語学力を向上させ、異文化への理解を深めることを主たる目的としています。現在実施している春期海外研修は昨年度から開始しており、研修期間中に「JAPANESE WEEK」という日本文化を地域の方々に広く発信するための大学イベントもあります。研修参加者にはこのイベントのお手伝いもしてもらいます。

また、平成26年11月24日にスターリング大学からインターナショナルオフィスの職員(Ms. Maria Cid Castilla)が本学新座キャンパスへ来校しました。授業及び施設見学の他、お昼休みの時間に学生との昼食交流会を実施したところ、春期に参加している学生13名と、夏期に参加した学生のうち15名程度が集まりました。



「JAPANESE WEEK」の様子



ネス湖見学旅行の様子

ローワーコロンビアカレッジ(アメリカ)

ローワーコロンビアカレッジの研修は、和光市からの幹旋依頼に基づき跡見学園女子大学が学生募集を行うこととなりました。埼玉県和光市は、平成11年にアメリカ合衆国ワシントン州にある「ロングビュー市」と姉妹都市協定を締結。以降、和光市とロングビュー市は、相互の交流を深めています。また、平成24年に和光市と跡見学園女子大学は包括協定を締結しました。これに基づき、和光市からロングビュー市にある「ローワーコロンビアカレッジ(LCC)」で行われる語学研修への学生幹旋依頼があったため、今年度の春期(H27.2/15～3/8)より本学の学生6名を派遣しました。

平成26年11月5日に実施した募集説明会では松本武洋和光市長がご挨拶ならびに姉妹都市ロングビュー市のご紹介をしてくださいました。この研修では英語を学びながら、アメリカの文化に触れることを目的としています。ホームステイができることも魅力の一つです。今後も本学と和光市の協力体制を確立し、埼玉県内での連携を強化することで更なる発展を目指していきます。



ローワーコロンビアカレッジ

平成26年度国際交流事業の概要と今後の展望について

本学の国際交流事業では、今年度、新たな取り組みを開始いたしました。夏期海外研修では、かねてより交流の深い国立スターリング大学(イギリス)への参加者が過去最高の52名を記録したほか、初めての研修先である国立政治大学(台湾)とロイヤルローズ大学(カナダ)への研修も大過なく終了しました。春期海外研修では、今年度2回目となる国立スターリング大学(イギリス)への派遣を現在実施中。また、和光市からの幹旋依頼により開始したローワーコロンビアカレッジ(アメリカ)の研修も今年度春期から実現させることができました。その他、ピシケク人文大学(キルギス共和国)との学術

交流協定に基づき、第1回学術講演会も開催しました。

平成27年度には、新たな研修先として、西部カトリック大学(フランス・アンジェ)での夏期海外研修の実施に向けて始動しています。西部カトリック大学は1875年に設立し、外国人向けフランス語コースは質の高さときめ細やかさに定評があります。本研修では、フランス語学習の他、文化活動やスポーツなどのアクティビティや2泊3日のパリ旅行を検討中です。

本学では今後も学生の海外経験の場を増やせるよう、各種プログラムを拡充し国際交流事業を推進します。

～平成26年度 海外研修の派遣人数～

時期	国名	大学名	派遣人数
夏期	イギリス	国立スターリング大学	52名
夏期	カナダ	ロイヤルローズ大学	10名
夏期	台湾	国立政治大学	6名
春期	イギリス	国立スターリング大学	13名 (研修中)
春期 (※和光市との包括協定に基づく※)	アメリカ	ローワーコロンビアカレッジ	6名

～海外大学との協定締結～

国名	大学名
イギリス	国立スターリング大学
カナダ	ロイヤルローズ大学
台湾	国立政治大学
台湾	国立高雄餐旅大学
中国	北京語言大学
キルギス共和国	ピシケク人文大学
フランス	西部カトリック大学(アンジェ) ※締結予定※

平成26年度

各種研究助成報告

●平成26年度 外国出張助成 採択状況

所属	氏名	職位	目的	出張先	出張期間
文学部	阿部 一哉	助教	研究	ドイツ	H26.8.17-8.30(14日間)
文学部	横田 恭三	教授	研究	中国	H26.8.21-8.31(11日間)
文学部	奥田 洋子	教授	学会	イギリス	H26.6.30-7.7(8日間)
マネジメント学部	塩月 亮子	教授	研究	台湾	H26.8.12-8.15(4日間)
マネジメント学部	櫻川 幸恵	准教授	学会	タイ	H26.7.10-7.14(5日間)

●平成26年度 特別研究助成費

単位：円

学部学科	氏名	職位	研究課題	採択額
文学部	岩本 憲司	教授	鄭玄の緯書学	500,000
文学部	奈倉 哲三	教授	『戊辰戦争期江戸出来事・情報総覧<月日表>』作成のための、膨大な未刊原文書・貴重写本の撮影・複写及び原史料蒐集〔前々年度よりの継続〕	1,610,000
文学部	副島 善道	教授	Film Archive(フィルム・アーカイヴ)への基礎資料集成ーフィルム再現収集と保存に関する実践とその比較研究ー	894,000
文学部	横山 太郎	准教授	近代能楽における身体表現の変容	666,000
文学部	宮岡 佳子	教授	中年期女性のレジリエンスが、更年期症状、うつ症状に与える影響	400,000
マネジメント学部	崔 勝湜	教授	韓国企業の人材マネジメントの研究ーサムスンを中心にー	700,000
マネジメント学部	塩月 亮子	教授	沖縄のスポーツイベントにおけるホスピタリティと地域活性化に関する比較研究	1,230,000

●平成26年度 学術出版助成 採択状況

単位：円

所属	申請者	職位	出版物タイトル	助成費
マネジメント学部	小川 功	教授	観光デザインとコミュニティデザイン	2,000,000

●平成26年度 留学

所属	氏名	職位	留学する大学等	留学区分	留学期間
文学部	佐藤 富雄	教授	フランス 社会科学高等研究院 École des hautes études en sciences sociales	海外長期	2014/4/1～ 2015/3/31
文学部	マック・カレン	准教授	アメリカ Indianapolis Museum of Art	海外長期	2014/4/1～ 2015/3/31
マネジメント学部	宮崎 正浩	教授	東京都 日本大学商学部	国内短期	2014/10/1～ 2015/3/31

●科学研究費助成事業

単位：円

所属	氏名	職位	研究種目	研究課題名	H26直接経費
文学部	酒井 佳永	准教授	基盤研究(C)	気分障害患者の家族を対象としたテイラーメイド型支援プログラムの開発に関する研究	800,000
文学部	山口 豊一	教授	基盤研究(C)	学校コミュニティでの心理職活用を促進する学校マネジメントシステムの開発	800,000
文学部	寺本 敬子	助教	若手研究(B)	近現代にパリ万国博が果たした役割についての実証的研究：万国博組織委員会を中心に	900,000
マネジメント学部	鷹 咲子	准教授	基盤研究(C)	大規模災害で被災した子どもの貧困防止策ー給付の在り方を中心として	1,100,000
マネジメント学部	丹野 忠晋	准教授	基盤研究(C)	医療用医薬品流通の経済分析	1,100,000
マネジメント学部	山澤 成康	教授	基盤研究(C)	東日本大震災後の地域景気動向の把握ー月次の都道府県別GDPの推計	600,000
マネジメント学部	内村 理奈	准教授	基盤研究(C)	近世・近代フランスの服装規範にみられるジェンダー観	1,200,000
マネジメント学部	井口 衡	助教	若手研究(B)	サプライチェーンを通じた環境負荷削減行動に関する実証分析	800,000

平成26年度 学内講演会 開催報告(学務部管轄分)

全学共通科目運営センター

- 平成26年度全学共通科目運営センター主催 第一回FD講演会
日 時：平成26年11月19日(水)13:00～14:30
場 所：新座キャンパス図書館視聴覚ホール

テーマ：「大学の評判・学生の実態」
講 師：杉谷祐美子准教授(青山学院大学教育人間科学部教育学科)
参加者数：24名

文学部

- 文学部FDワークショップ
日 時：6月25日(水)13:00～14:30
場 所：新座キャンパス2282教室

テーマ：「卒業論文・研究の指導報告とこれから」
発表者：富川淳子教授、奈倉哲三教授、藤澤伸介教授

大学院人文科学研究科

- 日本文化専攻主催 異文化交流フォーラム
◆第15回◆

日 時：5月21日(水)16:40～18:10
場 所：文京キャンパス2号館 M2308教室
テーマ：「海外からの視点 トルコとスリランカから」
講 師：ギョカイ・エキン・ジェレン氏
(トルコ・東京大学大学院学際情報学府)
ニルマラ・ラナシンハ氏
(スリランカ・立教大学大学院修士課程)

参加者数：20名

- ◆第16回◆※国際交流課共催

日 時：7月31日(木)16:40～18:25
場 所：文京キャンパス2号館 M2301教室
テーマ：「海外で働く」とはどんなこと？
～外国における日本語教育～
講 師：氏原名美氏(国立ピシケク人文大学(キルギス共和国)東洋国際関係学部日本語日本文学科学科長)

参加者数：28名

マネジメント学部

- マネジメント学部主催 キャリアデザイン講演会
日 時：①平成26年11月11日(火)18:20～19:45
②平成26年11月21日(金)18:20～19:50
場 所：①新座キャンパス 花溪メモリアルホール
②文京キャンパス アトミプロッサムホール
テーマ：「実社会で活躍する女性のキャリアデザインを考える
～跡見女子大が誇る輝かしい先輩の生き方を学ぶ～」

講 師：①澁谷美佳氏(澁谷社会保険労務士事務所所長)
パネリスト：①マネジメント学部卒業生4名
②マネジメント学部卒業生3名
コーディネーター：①芝原脩次兼任講師
②高橋聖子講師

参加者：①394名(うち中継教室58名) ②101名

- マネジメント学部第1回FDワークショップ
日 時：平成26年6月25日(水)3限
場 所：新座キャンパス3156教室
テーマ：キャリア教育のより一層の充実に向けて
講 師：宮崎正浩教授
許伸江助教
布留谷正幸就職課長
参加者：25名

- マネジメント学部第2回FDワークショップ
日 時：平成27年2月24日(火)12:00～13:30
場 所：新座キャンパス3256教室
テーマ：暗黙知の共有・継承
講 師：天野俊彦教授
中谷幸弘教授
花岡照明教授
芝原脩次兼任講師

以上

第一回全学共通科目運営センター主催FD講演会報告

全学共通科目運営センター長 石田 信一

2014年度の第一回FD講演会は、青山学院大学教育人間科学部教育学科准教授の杉谷祐美子先生をお招きし、「大学の評判・学生の実態」をテーマに11月19日に新座キャンパス図書館視聴覚ホールで行われた。

講演では、詳細な調査結果に依拠しつつ、社会から見た現在の大学・大学生のイメージ、それらへの期待と批判、さらに大学生の学習および生活の傾向などが紹介された。最後に「主体的な学び」の実現に向けたアクティブラーニングの活用と評価が取り上げられ、大学としての取り組みの必要性が強調された。

質疑応答では、社会における大学教育の有用性や産業界からのニーズと調査結果の比較等に関して積極的な意見交換が行われた。広い視野から大学教育のあり方を再考する良い機会になったと思われる。



情報メディアセンターより

教職員のための研修会報告

今年度の情報メディアセンター主催教職員のための研修会は、警察、国税庁、大学等において情報セキュリティ教育に携わった経験のある鈴木朋夫氏をお招きし、「スマートフォンやモバイル端末のリスクとは？～活用における情報セキュリティを知ろう～」と題した講演会を11月26日に実施しました。

近年、スマートフォンやタブレットといったモバイル端末の活用やSNS利用の増加に伴い、セキュリティに関するトラブルは後を絶たず、その脅威は多様化しています。また、セキュリティ事故が発生した際の被害は計り知れないものがあり、大学においても例外ではありません。講演では、実際に起きた情報セキュリティのインシデント(事故)の事例紹介のほか、セキュリティについて知っておくべき利用者側の基本的な知識を再確認することができました。本学では情報セキュリティ対策を推進するための「情報セキュリティ委員会」を設け、情報セキュリティに対する基本的姿勢としての「跡見学園女子大学情報セキュリティポリシー」を策定し、セキュリティマネジメントへの取り組みを行っています。

講演の最後、「『情報セキュリティポリシー』の目的は利用者の行動を制限することではなく、各人が『情報セキュリティポリシー』を遵守することで事件や事故を未然に防ぐことができる」との鈴木氏の話の聞き、教職員個々人の心がけによって「情報セキュリティポリシー」の実効性が確保されるということに改めて認識しました。今後も情報メディアセンターでは情報セキュリティ意識の向上を図るような取り組みを継続的に実践していきたいと考えております。

ポータルサイトがリニューアルします

現在、学生、教職員のみなさんに利用していただいているポータルシステムが、4月にリニューアルします。全体の構成やデザインが一新されます。新しいポータルサイトの登場を楽しみにしてください。(新ポータルシステムの使い方については、3月下旬ごろお知らせする予定です。)

平成26年度心理教育相談所関連事業

1 一般向け講習会

【新座キャンパス】

- 7/1(火)「自己理解～ご自分でご自分を調べてみませんか?心理テストを用いて～」 講師:宮崎圭子
 7/4(金)「それは本当に雑草なのか」 講師:藤澤伸介
 9/18(木)「笑顔で介護・看病」 講師:阿部洋子
 9/26(金)「コンセンサス実習～価値観や好悪の感情を共有する～」 講師:伊澤成男
 10/4(土)「いじめ問題の対応を考える」 講師:山口豊一

【ATOMIさくらルーム】

- 2/5(木)「自己理解～ご自分でご自分を調べてみませんか?心理テストを用いて～」 講師:宮崎圭子
 2/12(木)「それは本当に雑草なのか」 講師:藤澤伸介
 2/19(木)「笑顔で介護・看病」 講師:阿部洋子

2 不登校を考える親の会

新座キャンパス=第1・第3金曜日 10:00～12:00
 文京分室ATOMIさくらルーム=第2・第4木曜日
 13:00～15:00 担当:野島一彦

3 ATOMIさくらルーム シニアカフェ

6/7(土)、7/19(土)、11/22(土)、12/20(土)、4回開催
 担当:宮岡佳子

学生ボランティアと一緒にお茶を飲みながら、おしゃべりや簡単なワークを楽しむ会です。65歳以上の方対象。本年度より、文京区高齢福祉課との協働事業「シニアプラザ」の一環として開催されています。

4 ATOMIさくらルーム 子育てセミナー&語り場

3/14(土)開催 担当:松崎くみ子
 乳幼児の子育て中の保護者を対象。「子どもの自立を促す子育て」をテーマとしたミニレクチャーと自由な語り場です。

保護者説明会・後援会大学幹事会の報告

今年度の「保護者説明会」は8月30日(土)高崎会場、8月31日(日)新潟会場、9月6日(土)宇都宮会場、9月7日(日)仙台会場、10月18日(土)文京会場にて開催し、5会場あわせて約370名の保護者の方にお越しいただきました。

文京会場では本学の教育や進路支援の実施状況を学長・副学長・学部長をはじめ学部学科、各部局の教職員より説明をさせていただきました。全体説明会終了後に、「各学科内容・履修関係」「学生生活(奨学金・クラブ活動等)」「国際交流」「就職・進路」「就職内定者と語ろう」の各ブースで個別相談を行いました。特に「国際交流」「就職・進路」「就職内定者と語ろう」のブースは盛況で、留学、進路に対する保護者の方の関心の高さが窺えました。次年度も保護者説明会を開催する予定です。また多くの方にお越しいただければと思います。

11月23日(日)に文京キャンパスで開催された「後援会大学幹事会」には、後援会幹事29名がご出席されました。大学からは学長、副学長、両学部長、学務部長、図書館長、入試部長、就職部長、事務局長が出席し、大学の現状や取り組みを紹介、報告をさせていただきました。大学幹事の方からも、貴重なご意見、ご質問などをお寄せいただき、終始和やかな雰囲気の中にも、充実した会となりました。当日は、オープンキャンパスの開催の日でもあり、キャンパスツアーにも参加いただき、来場者、在学生で賑わう会場の雰囲気を直に感じていただけたのではないかと思います。

平成26年度就職懇談会の総括

平成26年度就職懇談会が、例年通り11月の第二火曜日に当たる11日に文京キャンパスで開催された。今年度の3年生から就職活動の開始時期が3ヶ月後倒しになったことを受けた企業様の動向は従来に増して積極的となり、昨年度を大きく上回る160社(前年114社)の参加を得た。また、第二部の懇談会会場を学外から学内三号館アリーナに移したことで127名(前年71名)に上る3年生の参加が叶うこととなり、懇談会はより盛況なものとなった。



第一部・学生達によるインターンシップ報告会の様子

プロッサムホールで開催した第一部では、学長のご挨拶、副学長の新学部のご案内に続き、就職部長から本学の就職の現状と就職支援プログラムが説明された。中でも、本学で特に注力しているインターンシップについては、この夏に試行した課題解決型(PBL型)インターンシップ報告を石渡ゼミの3年生が披露、企業様の関心とともに発表に対する高い評価を得るところとなった。

続くアリーナでの第二部では理事長以下学園の役員のご出席も賜り、企業様と学園関係者との懇親を深めることができた。学生達にも企業様とお話する機会を提供したことで、企業様で働く先輩として、社会人として、大人としての幅広く示唆に富んだお話を通じて、学生達自身が今後のキャリア形成を考えるについての多くの気づきやヒントを得られる大変良い機会となった。



第二部・企業様との懇談風景

学生自身が「自身の姿や働くということ」について「自分の言葉」で「直接的に」企業様とお話することについては初めての経験となる学生も多く、懇談会の初めにはなかなか話の輪に入れなかった学生も、時間が経つにつれて、メモを片手に積極的に話を聞くようになっていく等、将来の可能性に期待を抱かせてもらった。

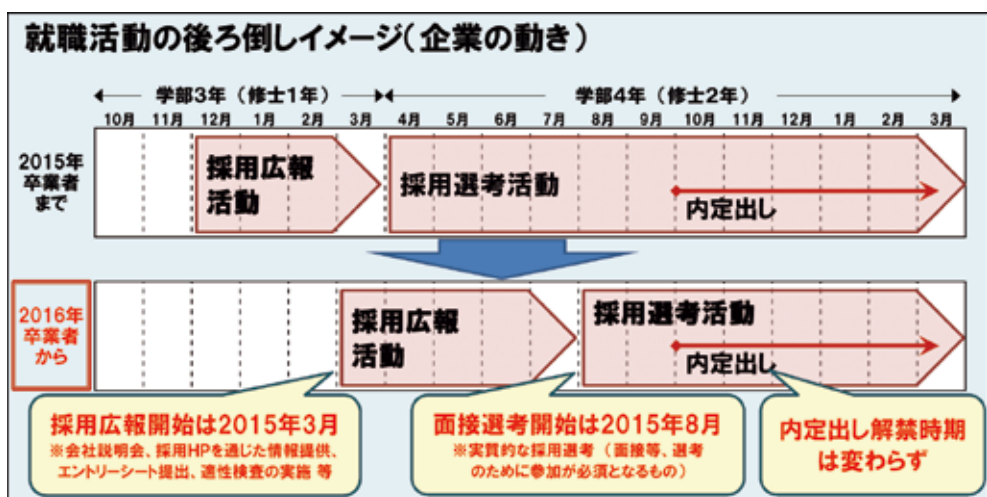
懇談会終了後のアンケートでは企業様から多くのお褒めの言葉を頂いたところであり、今後の就職支援活動にも大きな弾みがついた。これもひとえに学園及び学園関係者のご理解・ご協力の賜と感謝する次第である。

「ATOMIキャリアフォーラム(業種・企業研究会)」開催!!

現3年生からが対象となる“就職活動開始時期の後倒し”に伴い、就職課では就職支援プログラムの一部改編を行っている。この「ATOMIキャリアフォーラム(業種・企業研究会)」もその一つである。

例年では、就職活動が解禁となった12月から約3か月間、「学内企業説明会」として多数の企業様の協力を得て、就職活動をスタートさせた3年生に対し、各社の会社概要や採用選考に関する情報提供を行っていただいていた。しかしながら今年度は、就職活動時期が見直された分、この冬の時期を、学生たち自身に将来をより深く考える準備期間にしてもらいたいとの願いから、例年とほぼ同時期開催とし、各企業様にも、企業情報はもちろんのこと、「働き方」や「やりがい」、「将来のキャリア」に軸足を置いた「キャリア教育」の一環という位置付けで講演いただいた。例年のリクルートスーツ姿ではなく服装自由とし、参加対象も3年生に限定せず全学年として実施。新座キャンパスからの意識の高い下級生の参加もあり、3年生にも良い刺激となっている。

今年度はこれまで約120社ほどの企業様に協力いただいている。いよいよ就職活動が解禁となった今月以降も定期的な開催を検討しており、学生たちの選択肢を少しでも広げられる機会としていきたい。



ゼミ紹介

人文学演習Ⅰ・Ⅱ（ヨーロッパの歴史と文化）

文学部人文学科 教授 石田 信一

石田ゼミでは、主として西洋史研究の手法でヨーロッパの歴史と文化の諸問題に取り組みます。良くも悪くも古典的な授業運営を行っているゼミと言えるかも知れません。まず、西洋史に関する文献の紹介と史料集の講読を通じて知識の共有をめざします。史料に触れつつ、専門用語や表現法を覚える機会でもあります。続いて、具体的テーマ、例えば旧ユーゴスラヴィア紛争に関する学術論文を読み、全体の構成や注記の方法など論文のイメージをつかみながら、史料の有効性を含めて批判的な視点を持つ習慣を身につけていきます。また、在留外国人などへのインタビューによる情報収集といった実践例も紹介します。

ゼミ全体を通じて取り組むのは、学生自身の研究テーマを発見・発展させるための自由発表です。学生の関心は、フランス革命やナチス・ドイツといった西洋史の定番から現代の国際関係や社会問題に至るまで非常に多様ですが、幅広く興味を持つことを前提に、活発な質疑応答や意見交換が見られます。発表を何度も繰り返し、テーマを深め、卒業論文として成果をまとめるのは大変ですが、達成感も大きいはずですよ。

実践ゼミナール・観光マネジメント学演習

マネジメント学部観光マネジメント学科 准教授 村上 雅巳

村上ゼミでは「観光政策と地域活性マネジメント」をテーマに2年生から4年生まで60名が「教養実践力」を学び身に付けるため年間を通し様々な実践的なプロジェクトに参画しています。4年目を迎えた2014年度の村上ゼミはいわゆる「持っている」年でした。9月の『大学生観光まちづくりコンテスト』で観光庁長官賞(最優秀賞)とJTB賞のダブル受賞を皮切りに、11月の『立山町インターカレッジコンペティション』で優秀賞、12月の『マネジメント学部発表会』で最優秀賞と続けざまに好結果を出すことができました。何れもフィールドワークに基づく課題解決型の地域活性化プランを提案したものです。この他にも観光庁とのロケツーリズム・マニュアル作成や島根県立津和野高校との高大連携、川越市との若者誘客事業など新たなプロジェクトにも挑戦することができました。これはゼミ生の意識の高さに加えてゼミ内で先輩から後輩に良き経験やノウハウを継承し、学年を超え切磋琢磨する雰囲気と仕組みでゼミ運営を継続している賜物だと思っています。



図書館トピックス

1、図書館学修支援プログラム

平成26年度秋学期より、学生の学修支援を目的として「図書館学修支援プログラム」を始めました。図書館の活用法やレポート・論文作成に必要な文献・情報の収集を「参考図書の見方」「各種データベース検索方法」等のメニューで支援する他、お茶の水女子大学を初めとする図書館相互利用協定大学図書館、国立国会図書館の訪問見学による活用法習得もこの支援プログラムに組み込んでいます。先生方にこの支援プログラムをご案内したところ、授業やゼミ等13クラスからご希望をいただき実施しました。今後も学生の皆さんに広く利用してもらえるよう内容を充実させてまいります。

2、「跡見学園と百人一首展-かるたを中心として-」

平成26年12月9日(火)から平成27年2月7日(土)まで、跡見ギャラリーにおいて「跡見学園と百人一首展-かるたを中心として-」が開催されました。2回目の今回は、「百人一首乳母かゑとき 柿の本人磨」等パネル15枚に加え、「百人一首双六」の実物大複製1枚を展示しました。ガラスケースには「肉筆百人一首かるた」、百人一首豆かるた、愛国百人一首かるた等

5種類の様々なかるたの実物を展示しました。机上展示の「田辺聖子の小倉百人一首」(正・続)は、岡田嘉夫作のかるたも展示したので、挿絵とかるた絵とを見比べられるようにしました。また短期大学元学長田尻嘉信編「百人一首切臨抄」や、本学が所蔵する「百人一首画帖」等を掲載した書籍など10点余りも展示し、さまざまな角度から百人一首の魅力に迫りました。期間中、展示会場に畳を敷き詰め、2回目となる「かるたとり大会」を開催(1月22日)しました。昨年発足した図書館ボランティアかるた部会も参加してにぎやかに行われました。

3、第7回新収資料展

平成26年10月29日(水)から11月10日(月)まで、跡見学園女子大学新座図書館展示室において平成26年度春学期中に購入した百人一首・跡見花蹊関係資料を中心に「第7回百人一首・跡見花蹊関係新収資料展」が開催されました。展示品は「波に旭日図幅」等8幅、「百人一首」(北向雲竹書)等24点、全32点でした。



跡見学園と百人一首展

学生会情報

学生会本部部长 浅子 如奈



日ごとに暖かさを増し、ようやく春めいて参りました。私たち学生会本部からのご報告が二つございます。

一つ目は学生会選挙の結果です。学生会本部部长に浅子如奈(マネジメント学科二年)、副会長に大手さくら(人文学科二年)と鹿野友里菜(人文学科一年)がそれぞれ選出されました。浅子と大手は昨年を引き続き会長・副会長を務めさせていただきます。昨年の活動を活かし精一杯努力していきたいと思っています。

二つ目はクラブリーダー交流会についてです。今年も

昨年同様に二回開催しました。一回目は外部講師の方をお招きし、リーダーとして必要なコミュニケーション能力について考え、各団体が積極的にコミュニケーションを取り合いました。二回目では、四月に向けて新入生の勧誘方法について意見交換を行いました。ここで出た様々な意見をもとに、新しい仲間を一人でも多く迎え、今後の学生会活動を盛り上げて行ければいいと思っています。

最後になりましたが、学生会はこれからも皆さんと楽しい・快適な大学生活を送れるように努力していきますので、一層のご支援ご鞭撻の程をよろしくお祈りします。



第47回 紫祭報告

紫祭実行委員会 赤嶺優生

ごきげんよう。第47回紫祭実行委員会委員長の赤嶺優生です。今年の紫祭はたくさんの参加団体による、日頃の研究成果の発表、作品展示、音楽や演劇、ダンスの発表に模擬店と、バラエティに富んだ内容となりました。1日目はあいにくの雨でしたが、2日目には天気が回復しグラウンドでの模擬店出店が叶い、後夜祭恒例の花火も無事に打ち上げられました。雨仕様から晴れ仕様への準備など大変なこともありましたが、逆境に負けない、跡見生の力を感ずることができた紫祭だったと思っています。



第47回紫祭が無事に終了できましたのも、学長先生をはじめ、教職員の方々、地域の方々、参加団体の方々、

そしてお足元の悪い中紫祭にお越しくださいました方々のおかげでございます。この場をお借りして皆様に心より御礼申し上げます。今年度の反省を生かし、第48回紫祭をより良いものにしていくため、実行委員一丸となって励んでまいります。今後ともご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



CLUB Now

心理学検定部

皆さんこんにちは。心理学検定部です！私たちは、夏の心理学検定に向けてみんなで協力し合いながら学習会を行っております。心理学検定とは、誰でも受検できる大学卒業レベルの心理学的知識、能力を測定する検定です。受検のメリットは、大学の授業が検定の準備になる、大学在学中に履歴書に書くことができる、合格領域をためられる等です。私たちは、用語や体系を各自で調べ、教え合うという方法をとっています。グループで学習することで、調べた内容を自分の言葉で説明する機会があり、内容を本当に理解しているかを確認することができます。さらに、同じ目標を目指す友人がいることで、やる気が出ます。部活では、検定料が団体割引になり、参考書や過去問、興味深い心理学の書籍を借りることもできます。

心理学検定部では、毎年多くの部員が級を取得しています！！資格を取っておきたい方！心理学に興味がある方！私たちと一緒に学習しませんか？



平成27年度 花蹊記念資料館展示スケジュール

期 間	展覧会名・展示室 1	展覧会名・展示室 2
2015		
4月 1日(水)～ 6月 1日(月)	50周年特別展示Ⅰ 「学祖 跡見花蹊の世界」	
6月16日(火)～ 8月 3日(月)	50周年特別展示Ⅱ 「跡見花蹊の教育 一画一」 (画手本の世界)	
9月24日(木)～11月 7日(土)	50周年特別展示Ⅲ 「花蹊の芸術性」 (画手本の世界)	
11月24日(火)～12月19日(土)	50周年特別展示Ⅳ (書の世界) 「花蹊の跡見流 一書一」	跡見廉書会第9回OG展
2016		
1月27日(水)～ 2月 9日(火)	博物館実習生模擬展示	
3月14日(月)～ 3月31日(木)	「跡見家の女性たち教育・画・書」 花蹊と玉枝の画	李子と書 書簡

※平成27年度は、大学創立50周年であることから、学祖跡見花蹊の作品を中心に特別展示Ⅰ～Ⅳを予定しています。

※展示期間、展示内容は変更する場合があります。

新年度オリエンテーション予定

●学部 新1年生対象

4月2日(木)	一人暮らしのガイダンス 学生寮オリエンテーション (入寮者のみ対象)
3日(金)	入学式・新入生説明会 (午前:文学部、午後:マネジメント学部・観光コミュニティ学部)
4日(土)	<文学部のみ> 健康診断・資格課程ガイダンス <文学部・観光コミュニティ学部> 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・ 学科ガイダンス・グループミーティング <外国人留学生のみ> 外国人留学生オリエンテーション <マネジメント学部のみ> ATOMIアカデミア (~5日)
6日(月)	<マネジメント学部・観光コミュニティ学部> 健康診断 <マネジメント学部のみ> 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・個別面談 <文学部・観光コミュニティ学部> 個別面談 <文学部・マネジメント学部・観光コミュニティ学部> 司書課程ガイダンス

●学部 新2年生対象

4月4日(土)	<文学部のみ> 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学 科ガイダンス・グループミーティング・個別面談・健康診断
6日(月)	<マネジメント学部のみ> 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・ グループミーティング・個別面談・健康診断

●学部 新3年生対象

4月2日(木)	<マネジメント学部のみ> 健康診断・進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履 修ガイダンス・グループミーティング・個別面談
7日(火)	<文学部のみ> 健康診断・進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイ ダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・個別面談

●学部 新4年生対象

4月2日(木)	<マネジメント学部のみ> キャリアセミナー・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・ グループミーティング・個別面談・健康診断
7日(火)	<文学部のみ> キャリアセミナー・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学 科ガイダンス・グループミーティング・個別面談・健康診断

●大学院生対象

4月2日(木)	<マネジメント研究科のみ(文京キャンパス)> 健康診断・2年生ガイダンス(履修・専攻)
4月3日(金)	<両研究科新1年生のみ(新座キャンパス)> 入学式・ガイダンス(午前:人文科学研究科、午後: マネジメント研究科)
4日(土)	<人文科学研究科のみ(新座キャンパス)> 健康診断・2年生ガイダンス(履修・専攻)

◆春の行事予定◆

3月	18日(水)	第47回学部卒業式・第9回大学院修了式
	19日(木)	謝恩会
4月	28日(土)	桜まつり(一般公開)
	3日(金)	第51回入学式
	8日(水)	春学期通常授業開始

●履修申請●

●Web履修登録申請期間

- 1次 <2・3年生>4月8日(水)、9日(木)
<1・4年生>4月10日(金)、11日(土)
- 2次 <全学年>4月15日(水)、16日(木)

●履修登録状況(抽選結果)

発表 4月15日(水)、20日(月)

●履修登録訂正手続期間 4月20日(月)、21日(火)

桜まつり・オープンキャンパスのご案内

3月28日(土)新座キャンパスにて開催

◆予約不要◆

桜まつり

開催時間
10:30～14:30

オープンキャンパス

開催時間
10:00～15:00

桜まつりは毎年行われており、45種190本もの桜^{*}をお楽しみいただけます。学生団体による模擬店や地元銘菓・野菜等の販売が行われる予定です。図書館や資料館の見学もできます。また、3月1日(日)～5月15日(金)の期間は、桜鑑賞のため構内を一般開放しております。

受験生向けのオープンキャンパスでは、学科紹介や模擬授業など楽しい企画をたくさんご用意しております。どちらも予約不要ですのでお気軽にお越しください。

皆さまのご来校を心よりお待ちしております。

^{*}※時期により咲いていない桜もございます。

●編集後記●

今号では4月から新たに開設される観光コミュニティ学部のことや、平成26年度の総括を中心にご紹介いたしました。

来年度も学生の活動など、本学の取り組みを数多く紹介して参ります。ご期待ください。